

減資実施の背景について

平成 27 年 2 月 18 日
株式会社コムデザイン
代表取締役社長 寺尾憲二

1. 減資実施の背景について

2000年にインテル・ダイヤロジック社（現ダイヤロジック社）が世界市場に対しコンタクトセンター向け小型 PBX（以下、ICCP）の販売展開を開始しました。

この販売展開にあたり、当該分野での開発実績ならびに技術力を評価いただき、弊社が日本での販売総代理店の権利を得ることになりました。

弊社の IC CP の日本独占販売に際し、複数のベンチャーキャピタル様（以下、VC）からの出資を仰ぎ IC CP の日本への販売展開を図りました。この IC CP の販売展開の間にプロモーション費用がかさみ 2001年からの3年間には BS 上に繰越欠損金を計上するに至りました。

その後、2004年にインテル・ダイヤロジック社が IC CP 事業撤退の決定に伴い日本における弊社の IC CP 販売事業の撤退が余儀なくされました。弊社の IC CP 販売事業撤退に際し、VC 様と協議の結果、VC 様保有の株式全てを自社にて買い戻すことにご理解をいただき買い戻しを行い、従来の同族保有の株主構成に戻すことになりました。

その後、クラウド事業への事業転換を図り今日に至ります。クラウド事業の発展に伴い事業単体で損益分岐を超えた時期より、先の IC CP 事業時に生じた不良資産の償却を行ってまいりました。

今回の減資は、この不良資産の流れの一環で先に IC CP 事業で積み上がった繰越欠損金を減資により相殺し BS 上でも現在の会社状況を正しく反映する為に実施いたしました。

2. 減資に伴う経営影響について

減資に伴う人員削減を含む事業縮小等、現行のクラウド事業自体への影響は一切ございません。また、減資の決定は同族内での意思により決定され他者との軋轢は生じておりません。

加えて、現在の財務状況は間接金融からの借り入れもなく無借金経営を継続しており、また、クラウド事業からの安定的な売上があり月次収支も黒字計上を継続しており、極めて健全な財務状況であると判断しています。

以上